

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大 学 名	早稲田大学
タ イ プ	A-I I
構 想 名	アジア地域統合のための東アジア大学院（EAUI）拠点形成構想

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p>東アジア・東南アジアを代表する5大学の間でアジア地域統合のためのプログラムを構築し、東アジア大学院拠点を形成するという構想は優れており、スケールの大きな枠組みを着実に整備し、実施している点は高く評価できる。</p> <p>クォーター制度を導入することで学生の国際移動を容易にしているとともに、ジョイント・サーティフィケート制度の導入、共通スキームでの成績管理・単位互換による質保証の枠組みの構築という事業目的の達成に向けて、着実な整備が進んでいる。</p> <p>4専門分野と4テーマで構成されるマトリクスにより広範なカリキュラムを整備するという試みは評価できる。今後は、修士論文作成などの学生の研究テーマに応じた指導に加え、学生が本プログラムにふさわしい知識や技能の習得ができるよう組織全体で取り組んでいくことが期待される。</p> <p>「英語で学び研究する」環境を当初から実現し、その中で極めて高い英語力の到達目標を掲げている点は評価できるが、事業目的を達成する上では、より強力な組織的学習支援が必要と考えられる。また、英語力に自信がない日本人学生の参加を促す観点から、留学先の公用語（中国語、韓国語、タイ語）での履修を認める対応を行っているが、本プログラムの目的に照らして、教育・研究と言語との関係をどのように定義し、取り組んでいくのかについて、より一層の検討が望まれる。</p>